

原案 / 伊藤 大 上演台本・演出 / 岡本さとる 音楽 / 中村匡宏

バロック音楽劇

ヴィヴァルディ

— 四季 —

アントニオ・ヴィヴァルディの代表曲「四季」は、バロック音楽の中でも最も人気の高い、誰もが聞き覚えのあるヴァイオリン協奏曲で、1723年ヴィヴァルディが45歳の時に作曲したとされています。本作は、父のジョヴァンニ・ヴィヴァルディが、息子と育んだ栄光と挫折、そして希望に満ちた人生を四季になぞらえ、彼の代表曲「四季」にそって、サン・マルコ広場に近いカフェにどう人々との触れあいと共に描いていきます。2023年の終わり、2024年の幕開けに、ヴィヴァルディの名曲の生演奏とともに楽しみください。

Cast



ジョヴァンニ・ヴィヴァルディ
辰巳 琢郎



アントニオ・ヴィヴァルディ
高田 翔



フランコ
富岡 健翔



ガスタヴィーニ
市瀬 秀和



サンドリーニ
我 善導



マルチェッロ
須賀 貴匡



アンナ・マリア
舞羽 美海



アンナ・ジロー
青木 梨乃



ジュリア
亜聖 樹



ラウラ
浅井 ひとみ



マルタ
寿 三美



メリッサ
一色 采子

ジジ 佐藤 豪 サンチョ 橋本 巧望

愛知公演

2023 12/9日・10日
ウインクあいち 大ホール

兵庫公演

2023 12/27水・28木
兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

東京公演

2024 1/6日~14日
新国立劇場 小劇場

公式ホームページ、公式エクス 近日OPEN!

Artist Japan

ヴィヴァルディ

— 四季 —

Story 1703年、ジョヴァンニ・ヴィヴァルディ【辰巳琢郎】48歳、アントニオ・ヴィヴァルディ【高田翔】25歳。サン・マルコ広場近くのカフェでは、いつものように女主人のメリッサ【一色采子】と給仕のマルタ【寿三美】のもとに、今日も様々な人たちが集う。床屋でありながらヴァイオリンに長け、サン・マルコ大聖堂のヴァイオリニストにも選ばれていたジョヴァンニは、息子のアントニオの才能を見抜き、どうしても音楽の道で成功させたいと願い、まずは神学校に入れて、遂には司祭にして身分に箔をつけさせた。今日もこのカフェに来ては息子自慢をしながら、息子をプロデュースしていくジョヴァンニ。

カフェの近くには、ピエタ慈善院があった。孤児院で、男児は職業訓練を受けて16歳で巣立ち、女兒は結婚または修道院に入るためにここを出るか、音楽に生きて生涯を過ごす事もできた。というのも女兒は、幼少期から音楽の勉強や訓練を受け「合奏・合唱の娘たち」の一員として育てられた。ここの合唱・合奏団は、ヴェネツィアの名物でもあり、時折開催するコンサートの収入は、ピエタの運営をささえる財源にもなっていた。カフェの主人メリッサも、ピエタの出身で、結婚で巣立ったのだが夫と死別し、カフェを営んでいた。外出禁止のピエタではあったが、少女期を終えたジュリア【垂聖樹】や、ラウラ【浅井ひとみ】達は、たまに抜け出して、このカフェで気を許してお茶を飲みにつどっていた。同じくピエタで技術を学び、靴職人として巣立ったフランコ【富岡健翔】も、よくこのカフェに来て、息子自慢のジョヴァンニと、それに反発するアントニオが始める親子げんかに遭遇する。親のないフランコにとって、そんなアントニオがうらやましくもあり、ジョヴァンニを父のように慕うのであった。

ピエタでは音楽教育に力を入れていたので、ガスパリーニ【市瀬秀和】など優れた音楽家が指導にあたっていたが、司祭になったアントニオにも、その役割がまわってきた。彼の愛弟子となったアンナ・マリア【舞羽美海】は、ヴァイオリンの奏者として実力を伸ばし、結婚が許されない司祭であるアントニオ・ヴィヴァルディに思いを寄せ、自身も一生を音楽に捧げたいと願うようになる。

しかしアントニオは、オペラ界に進出し、音楽創りに没頭し始める。成功をおさめたものの、劇場地主の貴族で、音楽家であり弁護士でもあるマルチェッロ【須賀貴匡】と、興行師のサントリーニ【我善導】との諍いに巻き込まれ、さらにマルチェッロによる画策で、司祭の身でありながら、アンナ・ジロー【青木梨乃】というオペラ歌手を連れ歩くことがスキャンダルとして取り沙汰され、その人気に翳りが見え始める。いつときは、父ジョヴァンニに反発し、袂を分かったアントニオであったが、結局はジョヴァンニのプロデュースなしでは、うまくいかず、父子は和解するのであった。

1736年 ジョヴァンニも寄る年波には抗えず、アントニオをアンナ・マリアに託して、世を去っていく――

Player 花井悠希 林 愛実 山本有紗

Staff 美術：齋藤浩樹 照明：阿部典夫 音響：秦 大介 振付：KAZOO 舞台監督：西川也寸志
衣裳：森津妙子 ヘアメイク：太田夢子 (earch) 制作：佐野仁志 福永美咲 製作：岡本多鶴 企画・製作：アーティストジャパン

2023 12/9(土)・10(日)
ウインクあいち 大ホール
JR「名古屋駅」桜通口から徒歩5分
ユニモール地下街5番出口から徒歩2分
主催：サンデーフォークプロモーション / team Geki

2023.12	9(土)	10(日)
開演時間		12:00
	16:30	16:30

※開演は開演の30分前となります

2023 12/27(水)・28(木)
兵庫 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール
阪急電鉄神戸線「西宮北口駅」南改札ロスク (連絡デッキで直結)
JR東海道線「西宮駅」より北東へ徒歩15分
(バスご利用の場合、西宮駅北口ターミナルから阪急バスにて「西宮北口」下車)

2023.12	27(水)	28(木)
開演時間		13:00
	18:30	

※開演は開演の30分前となります

2024 1/6(土)~14(日)
新国立劇場 小劇場
京王新線「初台駅」中央口直結
(都営新宿線乗り入れ、京王線は止まりません)

2024.1	6(土)	7(日)	8(月・祝)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)
開演時間	12:00	12:00	12:00		14:00		14:00	12:00	12:00
	16:30	16:30		18:30	18:30	18:30	18:30	16:30	

※開演は開演の30分前となります

チケット一般前売り

愛知公演：11/8(水)

兵庫・東京公演：11/22(水)

料金：S席 8,800円 A席 7,700円
(全席指定・税込)

お問合せ：アーティストジャパン
03-6820-3500 (平日 11:00~18:00)

チケット取扱い

♪チケットぴあ <https://t.pia.jp>

♪イープラス <https://eplus.jp>

♪ローソンチケット <https://l-tike.com>

♪アーティストジャパン <https://artistjapan.tstar.jp>

♪芸術文化センターチケットオフィス【兵庫公演のみ】

0798-68-0255 (10:00~17:00 月曜休み ※祝日の場合翌日) <https://www.gcenter-hyogo.jp>

♪新国立劇場ボックスオフィス【東京公演のみ】

11:00~18:00 窓口販売のみ、現金払いのみ ※チケット代金のほかに手数料がかかります。

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

Artist Japan